

1 本年度の重点目標

①基礎的な学力の定着と主体的に学習する力が身につくよう支援する。 ②主体的な進路選択と進路目標が達成できるよう支援する。 ③学業と部活動との両立を支援する。 ④生徒の規律ある学校生活を支援する。 ⑤信頼される学校づくりを推進する。

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

A 達成している B おおよそ達成している C あまり達成していない D 達成していない

評価分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		自己評価結果	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学習指導	① 学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられるような授業と家庭学習の定着指導	B	○生徒の興味関心・学習意欲を喚起し、分かる授業、考えさせる授業作りに向けて学習内容や指導法を工夫する。(1)学習習慣の定着に向けた意識作り・計画性養成のためシステム手帳を活用した指導を工夫する。(2)通常の学習課題に加え、進学者向け課題やプラスアルファ課題等の実施など、具体的な施策を取り入れる。(3)下位層の生徒には課題提出や小テストの回数増等小さな達成感を体験させる機会を確保する。(4)テーマを設定し校内互見授業を継続実施し、授業力向上に努める。	B	C
学校関係者評価委員会における意見	○個々の習熟に合わせた指導はとても重要である。生徒に達成感を体験させる取り組みを工夫し意欲を高めてほしい。				
生徒指導	① 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導	A	○明るく元気の挨拶が励行され評価を受けているが向上しているとはいえない。生徒一人一人に自らの行動について考えさせるとともに服装頭髪指導では女子スカート丈、男子髭や髪型の違反への指導を徹底する等全職員で常に声がけし、基本的な事柄をしっかりと伝え規範意識を高めていく。	B	B
	② 教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制	A	○精神的に弱い者や人間関係づくりが不得手な者、家庭に問題を抱える者が増えてきた。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、特別支援地域コーディネーターと連携を図り改善の糸口が見えてきた。継続的な連携を進めていきたい。保護者の認知度が低いのでPTAの会議等で積極的に紹介していきたい。	B	B
	③ 生徒会活動が活発	B	○各種委員会として積極的に行事に取り組み責任を持って活動したが、昨年同様、生徒総会では積極的に自分の意見や全体の考えを伝えることができなかった。生徒会を中心に活発な意見交換を行える雰囲気作りと活動のアピールに努める。	B	B
	④ いじめの早期発見	A	○いじめに関するアンケートを毎月実施し、その内容をもとにいじめが解決した事例もある。努力をしているが生徒・保護者共に評価が低い。早期発見・防止に向け情報を共有し注意を怠らず取り組んでいく。	B	B

学校関係者評価委員会における意見		○服装等の指導基準を共通認識し、指導することが大切である。○いじめや不登校などの問題は学校だけで抱え込むのではなく専門機関とつながることが大切である。教員がしっかり生徒と向き合い積極的に関わる時間の確保も大切である。			
進路指導	① 進路目標の明確化に向けた適切な指導	A	○出前講座等各種講座・セミナーは生徒の職業観・勤労観・学問観を形成する上で有効であった。今後はそれを持続発展させるため面談等の仕掛けを講じていく。 ○進路ノート等の計画的活用については、学年によって使用頻度に差があったことから学年毎の編集も含めて内容の見直しや活用の仕方を検討する。 ○就職は、生徒の意欲と全職員、PTA模擬面接が噛み合うよう継続指導する。進学は一般入試に対応できる学力向上を目指した具体的指導及び必要な選択科目の開講に向けた検討を継続	B	B
学校関係者評価委員会における意見		○面接や小論文指導など計画性を持ち早い時期からの指導を工夫してほしい。			
地域との連携	① 特色ある学校づくりの展開	A	○ボランティアでの地域貢献活動や中新田地区にぎわいづくり委員会への参加等地域に根ざした学校として少しずつ信頼を得てきた。学校設定科目(キャリアプラン)等でも更に特色を出し、学びを深められるよう努めていく。	A	B
	② 防災教育の推進	A	○加美町と防災協定を結んだり、防災マニュアルを見直すなど安全・安心な学校づくりを地域と連携しながら行ってきた。今後さらに工夫し、生徒の防災意識を高めていきたい。昨年より生徒・保護者の肯定的評価が増加した。緊急メールも有効活用できるようになってきた。更に呼びかけを継続するとともに、災害・非常時の避難方法や連絡方法(時間など)確認し、定着させていく。	A	A
	③ 開かれた学校づくりの取り組み	A	○学校からの情報提供はある程度の評価を得ているが、保護者は満足との評価とはなっていない。また、PTA行事等については、保護者が学校に来たくなるような企画を考え、手立てを講じ、内容・広報等工夫する。	B	B
学校関係者評価委員会における意見		○地域に根ざした学校として地域の方たちと共有する時間は貴重である。積極的に地域の活動に参加してほしい。学校行事でも地域を巻き込む工夫を考えてほしい。○様々な場面を想定した防災訓練を実施し意識を高めさせてほしい。			

3 次年度の課題と改善方策

次年度の課題	改善方策
① キャリア教育の更なる充実	今年度の取り組みをしっかりと見直し、来年度も引き続き「志教育」推進事業・普通科におけるキャリア教育研究推進校に応募し、生徒が意欲的に地域の産業研究に取り組む工夫をし充実を図っていきたい。
② システム手帳の活用定着	システム手帳を使用し生徒の学習習慣を定着させたりタイムマネジメントを確立させるための教職員の意識や校内の環境づくりを検討し、共通認識を持ち指導する。